

# 学校だより

小川中学校

## 最後の定期テスト



3年生は、1月25、26日の2日間、中学校最後の校内定期テスト、学年末テストに挑みました。名残を惜しみながらも、中学校の仕上げとなるように、問題に真剣に取り組んでいました。

### 母の愛 ～中村久子～

中村久子は、4歳の時、体の一部が壊疽（えそ：体が腐っていくこと）する病気にかかってしまいました。そのままでは死んでしまうため、壊疽を起こした部分を切除することにしました。左手は手首から、右手は肘の上から、右足はかかとから、左足はすねから切断し、命をとりとめました。

退院してから久子の母は、「私の死後、久子が一人で生きていけるように」と幼い娘に厳しいしつけを始めました。

短い腕にはたきをはさみ、ほうきをはさんで掃除することから、食事も洗顔もトイレも、全て自分でやらせました。両腕で布をはさみ、口で縫うという針仕事まで教えました。つばで布がぬれれば、ぬらさぬ工夫をさせました。口でマッチをすって、火を起こすことまでさせました。

母にも娘にもどれほど辛い毎日だったことでしょう。しかし、久子はこの母のお陰で、後に結婚し、三人の子どもまで育てあげました。

昭和12年、ヘレン・ケラーが来日したとき、40歳の久子は、手作りの日本人形を贈りましたが、ヘレン・ケラーから「あなたこそ奇蹟の人だ！」と賞賛されたそうです。



義務教育の目的は一人ひとりに「生きる力を身に付けさせる」ことです。

しかし、中村久子は、学校ではなく、家庭で母を通じてすごい生きる力を身に付けたのです。ともすると「かわいそう」という気持ちから、保護し、何でもやってあげたくなります。久子の母も初めはそうだったかもしれませんが、それでは一生、人の世話に頼り切りになり、自立できないと考えたのです。

「置かれた場所で咲きなさい」というベストセラーがありました。それを地でいった久子は、悲惨とも思える状況にあっても、絶望することなく努力して立派な花を咲かせました。

本校の生徒たち174名は、それぞれ家庭環境が違います。兄弟、姉妹であっても家庭の中での位置は違っているはず。どんな環境にあっても、投げやりにならず、まずはその場で素敵な花を咲かせてほしいと願ってやみません。



# 新人駅伝に向けて特設駅伝部の挑戦！



2月6日（土）に、21世の森公園のコースで、市の新人駅伝競走大会が行われます。

本校では24日に行われた町内一周駅伝競走大会での成績などを参考に、新人大会に出場するメンバーを25日に発表し、この日から大会に向けてのチームとしての練習を始めました。

目標は男女とも一桁台に入ることです。来年度も連続して県大会の出場を目指して、頑張ろう！

## 男子選抜選手

学年	氏名	所属部活
1年	大平健太郎	バドミントン
1年	江口 大夢	野球
1年	小野 溪太	ハンドボール
1年	荒木 憲也	バスケットボール
2年	佐藤 翔	野球
2年	中野渡 昶太	バスケットボール
2年	菅野公一朗	野球
2年	佐藤 海斗	ハンドボール
2年	阿部 楓	バスケットボール

## 女子選抜選手

学年	氏名	所属部活
1年	若松 杏奈	ソフトテニス
1年	中野 鈴花	バスケットボール
1年	新妻 咲良	バスケットボール
2年	志賀 明優	バスケットボール
2年	荒木 美愛	バスケットボール
2年	井戸川 都	バスケットボール
2年	猪狩 琉依	ソフトテニス
2年	熊谷美々杏	バスケットボール



## 吹奏楽部新人演奏会

1月24日（日）、いわきアリオスで行われ、本校吹奏楽部は、中央台北中学校、中央台南中学校、四倉中学校、久之浜中学校と合同で演奏しました。

## 進路決定者は5名

現在まで福島高専に3人、県内私立高校2校に2人、進路が確定しました。

## 県立1期選抜試験

2月2、3日に行われます。高校によって、1日の所と2日間かかる所があります。

1期選抜は、学校から送られた調査書と当日の面接及び論文又は作文、加えてスポーツ推薦者は実技テストを行い、判定されます。

今回の面接は、これからの人生の節目節目で会うだろう様々な面接の第一歩となります。所作を含めて、必要な練習はしてきました。よくできるようになってきましたので、自信を持って臨んでほしいと思います。

連続無遅刻日数

**198日**

1月28日現在

200日を達成すると、次はいよいよ1年間無遅刻を通せるかどうかです！

2月2、3日（火、水）は  
**給食のない日**

弁当の用意をお願いします。

